

## Section 「Microsoft Edge」を使ってみよう

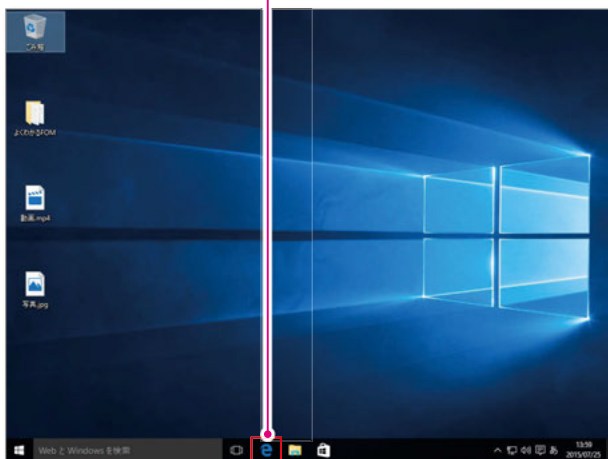
# 45

「Microsoft Edge」は Windows 10 に追加された新しいブラウザです。これまでの Windows 標準ブラウザといえば「Internet Explorer」でしたが、Windows 10 からは Microsoft Edge が標準ブラウザとしてタスクバーにもあらかじめピン留めされています。まずは画面構成でどんな機能があるのか見てみましょう。

## 1. Microsoft Edgeの起動方法

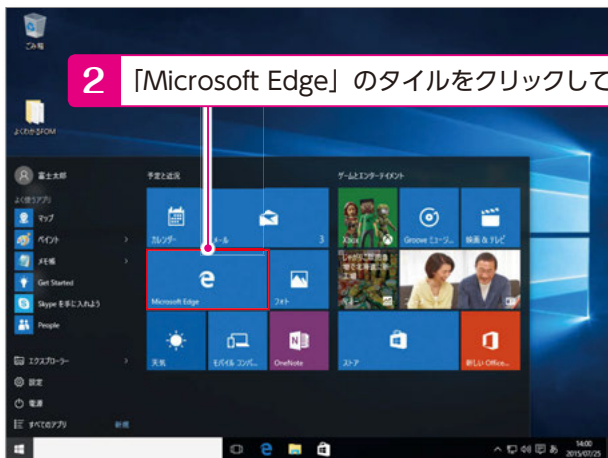
### タスクバーから起動する

- 1 タスクバー上のアイコンをクリックして起動する。



### スタート画面から起動する

- 1 スタートボタンをクリックする。

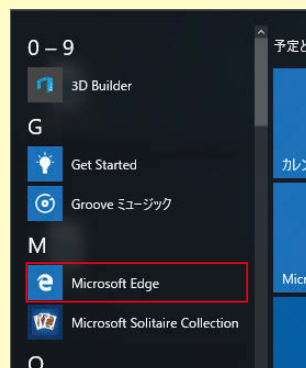


- 2 「Microsoft Edge」のタイルをクリックして起動する。

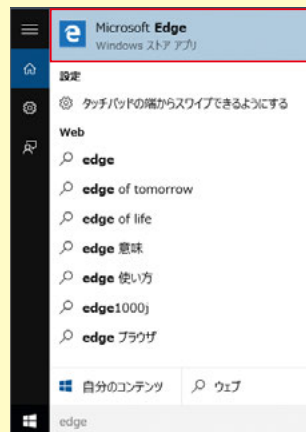


### そのほかの起動方法

Microsoft Edge は初期設定ではタスクバー、スタート画面のタイルともにピン留めされています。それ以外の場所から起動する場合は、スタート画面から《すべてのアプリ》をクリックして「M」の項目から《Microsoft Edge》を起動します。



「検索ボックス」からも検索して起動できます。「Edge」とキーワードを入力すると、検索結果画面にアプリが表示されるので、クリックすると起動できます。



## 2. Microsoft Edgeの画面構成を覚える



タブ	ウェブサイトを表示するためのタブです。タブは複数追加でき、それぞれのタブで異なるウェブサイトの閲覧ができます。
新しいタブ	新規でタブを追加するときに使います。新しいタブを開くと、新しくページを検索したり、お気に入りのページを表示できます。
戻る/進む/更新ボタン	「←」は「ひとつ前のページに戻る」、「→」は「ひとつ先のページに進む」、「更新」は「今見ているページを再度読み込んで更新」します。
アドレスバー	ウェブサイトの URL を表示します。キーワードを入力することで、ウェブサイトの検索を行うこともできます。
読み取りビュー	集中して文章を読みたいときに使うボタンです。このボタンを押すと、本文と画像のみが表示され、余計な部分が排除されます。使えないページもあります。
お気に入りまたはリーディングリストに追加	お気に入り（ブックマーク）に登録したいときに使うボタンです。お気に入りに登録しておけば、いつでもウェブサイトにアクセスできます。
ハブ	「お気に入り」「リーディングリスト」「検索履歴」「ダウンロード履歴」を表示するボタンです。
Web ノート	表示中のウェブサイトに手書きでメモを残したいときに使う機能です。「Microsoft Edge」の特徴的な機能です。
共有	表示しているウェブサイトをメールなどで他人と共有したいときに使います。
他の操作	Microsoft Edge の設定を変更する「設定」や、ウェブページを印刷する「印刷」など、その他の操作が格納されています。